ニッペ

超低汚染形ターペン可溶2液形アクリルシリコン樹脂クリヤー

ファイン プーレシステム

ニッペ ファインシリコンフレッシュクリヤー
ニッペ ファインプーレコート
ニッペ ファインプーレガード

JIS A 6909 耐候形1種相当品

放散等級区分表示	F☆☆☆☆

居室内外での使用面積制限はありません

ハイブリッド架橋による コンクリート生地肌仕上げ

FINE SILICONE FRESH CLEAR
FINE PURE COAT
FINE PURE GUARD

ぬれ肌防止

超低汚染

高耐候

FINE PURE SYSTEM

NIPPON PAINT CO.,LTD.

FINE PURE SYSTEM

FINE SILICONE FRESH CLEAR
FINE PURE COAT
FINE PURE GUARD

ハイブリッド架橋形弱溶剤塗料により、
コンクリートの素材感を長期に美しく保ちます。
また、全工程がオール弱溶剤なので
環境に優しい施工となります。

ニッペ ファイン プーレシステム

超低汚染形ターペン可溶2液形アクリルシリコン樹脂クリヤー

ニッペ ファインシリコンフレッシュクリヤー
ニッペ ファインプーレコート
ニッペ ファインプーレガード

特長

1 コンクリートの素材感を生かした仕上げが可能
素材のぬれ肌が防止でき、コンクリートの仕上がり外観そのままの仕上げになります。生地の素材感を長期に維持し美しい仕上げが得られます。

2 中性化防止、エフロレッセンス・塩害防止
防水性が高く、コンクリートの中性化を抑制します。
また、エフロレッセンスの発生を抑制し、塩害からコンクリートを保護します。

3 高耐候性・超低汚染性
強固なシロキサン結合によって架橋するため、光沢低下や変色が極めて少なく高耐候性を発揮します。また、特殊セラミック成分による親水化技術がすぐれた低汚染性を実現します。

4 オール弱溶剤形システムで環境に優しい
弱溶剤系であるため臭気がマイルドです。
鉛などの重金属、ホルムアルデヒド、クロルピリホスを配合していません。

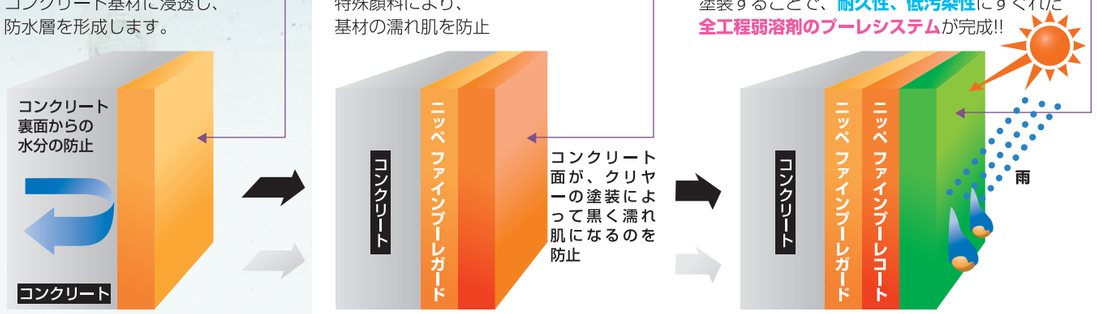
5 防藻・防かび性、透湿性
藻・かびの発生を抑制します。
透湿性が高く、結露から建物をまもります。

ファインプーレシステムのメカニズム

1 ニッペ ファインプーレガード
シリコンオリゴマーが
コンクリート基材に浸透し、
防水層を形成します。

2 ニッペ ファインプーレコート
弱溶剤アクリルシリコン樹脂と
特殊顔料により、
基材の濡れ肌を防止

3 ニッペ ファインシリコンフレッシュクリヤー
ファインシリコンフレッシュクリヤーを
塗装することで、**耐久性、低汚染性**にすぐれた
全工程弱溶剤のプーレシステムが完成!!



ファインプーレシステム標準塗装仕様（生地仕上げ）

■新設コンクリート面　生地仕上げ

工　程	塗　料　名	塗り回数	使用量 kg/m²/回	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	よごれ、ほこりなど付着物を除去し、乾燥した清浄な面とする。(一般の下地調整材による補修やサンダーがけは原則としてできません。)						
はっ水処理	ニッペファインプーレガード（ターペン可溶特殊シラン系はっ水剤）	1	0.16～0.20	16時間以上	無希釈	－	ウールローラー エアレススプレー
下　塗　り	ニッペファインプーレコート（ターペン可溶シリコン樹脂クリヤー塗料）	1	0.12～0.15	4時間以上	塗料用シンナーA	30～40	エアスプレー
上　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り～つや消し・カラークリヤー）	1	0.12～0.14	－	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー※

注）上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。）
●ニッペファインプーレコートやニッペファインシリコンフレッシュクリヤーをローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合があります。
あらかじめ試験塗装を実施し、仕上がりをご確認ください。さらに、ローラーは短毛ローラーにて塗装し、塗装時の希釈率は「0～10%」で塗装してください。（基本的にスプレーでの塗装をおすすめします。）

■経年コンクリート面（旧塗膜あり）生地仕上げ

工　程	塗　料　名	塗り回数	使用量 kg/m²/回	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
水　洗　い	高圧洗浄し、浮き塗膜などは除去し、乾燥した清浄な面とする。						
中　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り）	1	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー
上　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り～つや消し・カラークリヤー）	1	0.12～0.14	－	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー※

注）上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。）
●ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーをローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合があります。
あらかじめ試験塗装を実施し、仕上がりをご確認ください。さらに、ローラーは短毛ローラーにて塗装し、塗装時の希釈率は「0～10%」で塗装してください。（基本的にスプレーでの塗装をおすすめします。）
●旧塗膜がはく離している場合、はっ水処理と下塗り処理を行ってください。
●旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。

■経年コンクリート面（旧塗膜なし）生地仕上げ

工　程	塗　料　名	塗り回数	使用量 kg/m²/回	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
水　洗　い	高圧洗浄し、浮き塗膜などは除去し、乾燥した清浄な面とする。						
はっ水処理	ニッペファインプーレガード（ターペン可溶特殊シラン系はっ水剤）	1	0.16～0.20	16時間以上	無希釈	－	ウールローラー エアレススプレー
下　塗　り	ニッペファインプーレコート（ターペン可溶シリコン樹脂クリヤー塗料）	1	0.12～0.15	4時間以上	塗料用シンナーA	30～40	エアスプレー
中　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り）	1	0.12～0.14	4時間以上	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー
上　塗　り	ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー（つや有り～つや消し・カラークリヤー）	1	0.12～0.14	－	塗料用シンナーA	20～40	エアスプレー※

注）上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。）
●ニッペファインプーレコートやニッペファインシリコンフレッシュクリヤーをローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合があります。
あらかじめ試験塗装を実施し、仕上がりをご確認ください。さらに、ローラーは短毛ローラーにて塗装し、塗装時の希釈率は「0～10%」で塗装してください。（基本的にスプレーでの塗装をおすすめします。）
●旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。
※）つや調整品では、Pコン部分などで、タマリやダレなどができると、つや調整剤による白化状態が発生する場合がありますので、塗装時は十分ご注意ください。

塗り替え仕様について
経年した外壁の打ち放しコンクリート面は、新設時の打ち放しコンクリート面に比べて雨水、炭酸ガスおよび紫外線などによりコンクリート表層は風化され、塗装下地はポーラス（多孔質）状態になっています。そのため塗料の吸い込みが著しく、下塗り（ニッペファインプーレコート）塗装仕上げ段階で白化状態になる場合があります。（「ニッペファインプーレコート」には、濡れ肌防止のための特殊顔料分が配合されており、含浸力の高い樹脂分が基材に吸いこまれて表面に特殊顔料分だけが取り残され白化します。）その場合、下塗り塗装後「ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーつや有り」を塗り付けし、白化状態がなくなるまで塗りこんでください。

荷　姿

塗料名	色　相	つ　や	容　量	塗料液・硬化剤混合比(質量比)	塗料液・硬化剤混合後の使用時間(23℃)
ニッペファインシリコンフレッシュクリヤー	透明 カラークリヤー	つや有り、3・5分つや有り つや消し	15kgセット（塗料液12kg硬化剤3kg）	4：1	6時間
ニッペファインプーレコート	乳白色	－	15kgセット（塗料液12.5kg硬化剤2.5kg）	5：1	6時間
ニッペファインプーレガード	透明	－	14kg	－	－

※カラークリヤーは「ニッペ ファインシリコンフレッシュクリヤー塗料液」に対し、「ニッペ ファインシリコンフレッシュ塗料液」を質量比5%まで混合し、混合塗料液と硬化剤を質量比4：1で混合し使用してください。

注意点
●本製品は、すぐれた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が、塗料液や硬化剤に混入しないようにしてください。
また、空気中に含まれる水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、冷暗所に保管してください。マスカーなどの封では不十分です。
●長期間の保管（6ヶ月以上）は避けてください。また、開栓後はなるべく早く使い切ってください。

ニッペ ファイン プーレシステム

施工上の注意事項（詳細な内容については各製品の製品使用説明書などにてご確認ください）

1.シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
2.エフロレッセンスなど汚れの除去で素地の洗浄を行う場合、薬剤（酸、洗剤など）が残らないよう、後水洗は十分行い、乾燥した清浄な面にしてください。
3.さび汁などがある場合は、サンドペーパーで除去してください。
4.吸い込みやすい基材では使用量が多くなります。
5.溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口･空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
6.素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH−2型で測定した場合）、または5%以下（ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
7.塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
8.屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
9.飛散防止のため必ず養生を行ってください。
10.大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
11.汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
12.塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
13.開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
14.塗料漏洩の原因になりますので、保管･運搬時に容器を横倒しにしないでください。

<ファインプーレコート･ファインシリコンフレッシュクリヤー共通>
1.下塗り材にエポキシ樹脂塗料（ニッペ浸透性シーラー（新）など）は使用しないでください。変色、はく離の可能性があります。
2.経年した外壁の打ち放しコンクリート面への塗装は、劣化が進行しており、コンクリート表層内劣化部からはく離するおそれがあります。クラックが発生したり、こすって骨材が落ちたりしているコンクリート劣化部で、必ず試験施工をおこなって付着性を確認してください。
3.所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
4.硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
5.水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
6.硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
7.塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
8.塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
9.塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
10.薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。

<ファインプーレコート･ファインプーレガード共通>
1.上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。

<ファインシリコンフレッシュクリヤー>
1.ローラー及び刷毛塗装で下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
2.つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
3.つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
4.過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
5.つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
6.つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
7.被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
8.塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
9.ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）
10.PCパネル塗装に関しては、PCパネルの扱い方や乾燥養生条件、仕上げ方など、現場施工とは大きく異なる注意点があります。詳細については、お問い合わせください。
11.ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
12.可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
13.平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。

<ファインプーレガード>
1.噴霧粒子を吸い込むと、嘔吐、呼吸困難など身体に変調を及ぼす可能性がありますので、スプレー施工の際は必ず有機溶剤用防毒マスクを着用ください。
2.作業現場周辺の方が噴霧粒子の吸引をしないようにスプレー施工の際は注意し、必要に応じて対策を実施してください。
3.表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、巣穴、ひび割れ、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。ただし正常面と異なる色相になることがありますのでご注意ください。また特に大きな巣穴などの場合塗装で十分に保護できないことがあります。
4.ニッペファインプーレガードはダレやすいので、むら切りのためにローラーやはけでならしを行ってください。
5.目印は、ウエスで簡単に拭き取れるものを使用し、コンクリートの表面を汚す墨出し、およびきずをつける道具は避けてください。
6.はり･突き出し部分･木繊維などの除去には、周りをきずつけやすいディスクサンダーを使用しないで、タガネではつり取ってください。
7.コンクリート表面に付着した汚れ･泥土･コンパネ灰汁などは、P180～240のサンドペーパーで除去し、水洗い清掃してください。
8.クリヤー仕上げするうえでの望ましいコンクリート面は、（1）均質、均一な打ち放し面が得られること、（2）巣穴、ジャンカがないこと、（3）不陸がないことです。均質、均一な面が要求されるのは、素地の吸い込み差および、面精度の差、材質の差をなくすためです。これらの差によって、発色が異なって色むらが生じます。
9.ジャンカ･欠損部･大きな気泡穴などに用いる補修モルタルは、白セメントとケイ砂を合成樹脂エマルション水溶液で混練りして、コンクリート色よりも淡い色に調合してください。
10.補修は見切りの良い部分まで形状を模様となるよう補修してください。補修モルタルとコンクリートでは、吸い込み表面粗度に差があります。･補修モルタルは、すべて"カナゴテ"で塗り、平滑に仕上げてください。
11.部分的に点在しているあばた状の凹凸したコンクリート肌は、光の陰で色むらに見えるため、目立つ部分は樹脂入りの白セメントで補修して平滑に仕上げてください。
12.コンパネジョイント部の樹脂入り白セメントモルタル補修塗りは、平滑に仕上げないで適宜目違いを付けてください。
13.目立ちやすい直径7mm以上の気泡穴は、樹脂入り白セメントモルタルで塗りつぶし、穴の周りは水を含ませたスポンジできれいに拭いてください。
14.補修材として、「セメントノロ」、「セメントフィラー」などは使用しないでください。また骨材として、パーライトなどの軽量骨材は使用しないでください。
15.パネルは、面で共用なものにしてください。
16.下地補修のチェック方法は、補修なし、補修ありの両面に水をかけ、なるべく同色になるようにしてください。
17.塗装に際しては、素地へのなじみ具合をみながら、膜厚が均一になるように塗付してください。
18.スポット補修は、色むらやつやむらを起こしやすくなります。足場カゲなど特に留意してください。
19.コンクリート生地の色むらの補修などは特殊塗装工事が別途必要です。これらの補修塗装工事は特殊な補修技術を持った専門業者へ依頼してください。
20.素地の吸い込み差、使用量、塗装方法などで仕上がり外観が変わりますので、必ず現場で試験塗装を行い、壁面の仕上がり予測を十分関係者間で調整してください。
21.屋内での作業の際は排気ダクトあるいは送風機などを使用し、室内換気を確実に実施してください。排気装置や送風機を使用する場合、排気出口は外部とし、周囲の人への影響がないか確認ください。
22.有機溶剤を含んでいますので、屋内での作業は換気を充分に行ない、必要に応じ有機溶剤用防毒マスクなどを着用して下さい。

安全衛生上の注意事項

●ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーつや有り塗料液　横倒禁止

1.本来の用途以外に使用しないでください。
2.使用前に取扱説明書を入手してください。
3.すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4.熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。ー禁煙です。
5容器を密閉しておいてください。
6.容器を接地／アースをとってください。
7.防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用してください。
8.火花を発生させない工具を使用してください。
9.静電気放電に対する予防措置を講じてください。
10.粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないでください。
11.取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
12.この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
13.屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
14.必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
15.保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用してください。
16.気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けてください。
17.緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
18.口をすすいでください。
19.容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
20.漏出物を回収してください。
21.皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
22.吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
23.吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
24.ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断／手当てを受けてください。
25.皮膚刺激を生じた場合:医師の診断／手当てを受けてください。
26.汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
27.火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。
28.施錠して保管してください。
29.換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
30.直射日光や水濡れは厳禁です。
31.塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
32.日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度にばく露しないでください。
33.容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。（偏荷重になると取ってが外れ、落下事故の危険があります。）
34.内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
35.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
36.容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート（SDS）をご参照ください。
□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　険	危険有害性情報
	引火性液体及び蒸気／皮膚刺激／吸入すると有害／生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 臓器の障害のおそれ（単回ばく露）／長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ／水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

日本ペイント株式会社

北海道支店　☎011-370-3101
東北支店　☎022-232-6712
関東支店　☎03-5479-3614
北関東信越支店　☎03-5479-3614
中部支店　☎052-461-1960
近畿支店　☎06-6455-9608
中国支店　☎082-281-2180
四国支店　☎0877-56-2346
九州支店　☎092-751-9861

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●本カタログ中の製品名･会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社･その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2019 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ http://www.nipponpaint.co.jp/

カタログNo.
NP-X099
TY191004T
2019年10月現在